

山行報告書

山行管理部

例会山行 神福山 11月22日

L 森(勝)・松本(正)・五十嵐・飯塚 参加 39名

金剛^{ロープ}ウェイ前(10:00) → 千早峠(11:00) → 神福山(11:25) →
行者杉(12:00~12:45) → 山の神(14:00) → 紀見峠駅(15:10)

人数によってはバス会社と増便を打合せしていたが、とりこし苦労でした。
千早峠までは登り路、あとは大体平坦な屋根あるき。ダイトレ用目印が多くあって
良かった。山の神手前の急階段を降り、事故なくありがとうございました。

(森(勝) 記)

忘年山行 長峰山(天狗塚) 12月5日 L 三嶋・島田(美) 参加 26名

阪急梅田駅(8:40 発) ⇒ 阪急六甲駅(9:08 着) → 巖島神社(9:45) →
伯母野山住宅碑(10:05) → 鉄塔下(10:45) → 長峰山(11:30) → 柚谷峠(12:15) WC →
穂高湖[昼食](12:30~12:50) → 長峰霊園下(14:40) [解散] →
阪急六甲駅(15:10~15:19) ⇒ 阪急梅田駅(15:50 発)

久しぶりに天気は上々。巖島神社にて参加者確認・コース説明等を行い、2班に分かれアスファルトの急坂を登り始める。今回も列の横への広がり、前後の間隔を広げないよう努める。伯母野山住宅碑から山頂までの登山道は、昔はそれなりに利用されたと思われるが、今は行き交う人も少ない様子。整備も今ひとつ、といったところか。山頂は大きな岩の上であり、交代で眼下の景色・遠望を楽しむ。山頂から柚谷峠への下りは、一変して冬の風が吹き付けてくる。ここから昼食を取った穂高湖に掛けては、本来の冬の寒さを思い出させてくれる。柚谷峠からは沢沿いの道を、長峰霊園下まで一気に下る。途中からは時間を気にしての山行となったが、何とか16時からの忘年会に間に合うことができた。

(三嶋 記)

ウィークデー 甘南備山から一休寺 12月11日 L 園・島田(美) 参加 4名

京田辺駅 10:00 → 一休寺 10:15 → 登山口 10:45 → 甘南備山 11:30 →
展望台 11:45 (昼食) 出発 12:15 → 一休寺 13:40 (見学) 出発 14:20 →
京田辺駅 14:40

早朝から、雨風が強く心配したが、集合場所では雨も止み4名で出発前方に笠形の甘南備山を眺めながら、田畑の中の道をのんびり歩く。12月も中旬になるとい

うのに、紅葉がきれいだった。 帰り途、一休寺に立ち寄り少人数だったので、のんびり拝観する事ができた。 (島田(美) 記)

土曜山行 武奈ヶ岳 12月12日 L 願野・森(庸) 参加16名
出町柳 7:45→バス→8:45 坊村 坊村 9:07…冬道分岐 10:30…ヘリポート 10:52
…御殿山…11:55 武奈ヶ岳(昼食) 12:20…コヤマノ岳…大橋からの合流地点 13:40
…金糞峠…青ガレ終点 14:24…イン谷口 15:40…比良駅 16:15 (解散)

前日の雨と風、交通機関の乱れにはハラハラさせられましたが、山行当日は歩くと少し汗ばむくらいの気温で、歩くのには最適な日となって幸いでした。下見の時にSLからの指摘で、昭文社の地図に新しい道が載っている事がわかり、コースタイムの短縮にもなるので一部コースの変更をしました。最終的に、ほぼ設定した時間に下山でき良かったのですが、考えさせられるところもありました。

(願野 記)

サロン 生駒日下越 12月12日 L 宇野 参加13名

生駒山の山麓公園を10時40分に出発、落ち葉の積もったクッションのきいた気持ちの良い山路は緩やかな登り、若い森さんの参加と在って一だんと話が弾む、古の径はだんだんと樹々の朽ちけた古の森の様相になる、(古事記、日本書紀によると国を統制する為、神武天皇と兄の五瀬命【尊】が宮崎から瀬戸内海、難波津、生駒山の東方山麓日下から大和に向かう途中、土地の豪族長髓彦と闘い五瀬命が負傷しその血を洗い流したとされる瀬の口を回る、顕正碑の建つ場所で賑やかなお昼を楽しむ、想像もつかないロマンに心躍らせながらその日下に降りて来ました。北緯34度41分の横ラインを通る元日には神島から伊勢神宮、生駒の日下、長谷寺、三輪山、二上山と太陽柱が出来るそうです。私たちのすぐ傍にこんな森が有るんだなと皆ビツクリした山行でした。 (ささやかな納会で今年を締めくくりました)

(宇野 記)

自然保護部 湖北忘年山行及び野鳥観察 12月12～13日

L 石野(博)・目加田・友田 参加17名(会員16名、会員外1名)
12/12(土) JR大阪駅(07:30)→JR余呉湖(09:40)～岩崎山登山口(10:15)～
(12:00)賤ヶ岳山頂(昼食)～下山(13:30)→豊公荘(15:10)
12/13(日) 豊公荘(08:30)→湖北町海老江「早崎ビオトープ」～湖岸～
湖北野鳥センター山本山(昼食)～野田沼～
湖北野鳥センター(鳥合わせ)(14:50)→JR長浜(解散)

12日 晴：前日の大荒れの天気によって変わり最適の天候の下、賤ヶ岳の山頂を目指した。戦いの跡を辿りながら、尾根から垣間見る余呉湖に感動、感嘆。心地よい山歩きを楽しんだ。

13日 晴のち曇のち晴：コハクチョウと、直前の12/8に飛来情報のあったオオワシの「おばあちゃん」に大きな期待を込め臨んだ探鳥会であった。期待に応えるかのようにコハクチョウの小集団（家族単位）が飛んでいた。何組も何組も頭上を横切るのを首が痛くなるまでいつまでも眺めていた。

オオワシを求め山本山に向かう。聞いてはいたが、想像をはるかの超える数のバードウォッチャーがカメラを据えて、樹上高くに停まるオオワシと対峙していた。

朝7時にカメラを構えた時から全然動かないとのこと。「おばあちゃん」が、バードウォッチャーが早く諦めて帰らないかと上から眺めているのでは・・・

他にもオオヒシクイ、キジ、カンムリカイツブリなどを観察。この日36種を観察。のんびり、広々とした湖北での探鳥は病みつきになりそう。

（目加田 記）